



大名持神社拝殿―吉野町で



大名持神社（吉野町）



野街道の分岐点の地に南面して鎮座します。

ご祭神は、大名持御魂（おごもちみたま）神つまり大國主命（おおくにぬしのみこと）、后神（こうかみ）の須勢理比咩命（すせりひめのみこと）、大國主命（おおくにぬしのみこと）と國土彦命（くにこひのみこと）に当たった少名彦名命（すくなひこのみこと）で、全て出雲系であることが特徴です。

創建は不明ですが、平

本殿背後に「妹山樹叢」

（住所）吉野町河原屋86
（祭神）大名持御魂神
須勢理比咩命、少名彦名命
（文化財）「妹山樹叢」は国天然記念物

（交通）近鉄吉野線大和上市駅からバス約5分、立野口下車すぐ
（拝観）境内自由
（駐車場）約5台（無料）

安時代の延喜式神名帳に名神大社に列せられていた式内社で、古代より非常に格式の高い神社です。

大名持神社は別名「大汝宮（おほにぎのみや）と呼ばれており、神社下の吉野川には、毎年6月30日に海水が湧き出るといふ言い伝えのある潮生湧（うしなわ）があります。

本殿背後にある妹山（いもやま）は円錐形の整った標高249mの山で、古くから入

の珍しい温地性植物が繁殖していることから、1928（昭和3）年に国の天然記念物「妹山樹叢（いもやまじゅそう）」として登録されています。

（奈良まほろばソムリエの会会員 亀田幸英）